

事者 1205 人、福祉従事者 110 人)であった。

アンケート結果に関しては(株)インテージに連結不可能匿名化をしてもらったものの提供を受け、解析を行った。

(倫理面への配慮)

本検討は東京大学倫理委員会で「一般生活者・医療従事者のウイルス肝炎に関する認識調査(多施設共同研究)」として認可を受けている(3915)ものである。

C. 研究結果

(1) B型肝炎患者イメージの因子分析

問Ⅱ-1(B-2)のB型肝炎患者に対するイメージ項目の結果を用いて、因子分析を行った。「強くそう思う」+2、「ややそう思う」+1、「あまりそう思わない」-1、「全くそう思わない」-2を各項目について得点を与えた。なお、この質問には「わからない」が含まれているが、こちらの項目については得点を与えず、分析の対象から外した。

なお、一般生活者調査で分析の対象から除外した「患者はアルコールを飲んではいけない」「患者は運動をしてはいけない」「助成金も豊富で比較的経済的には楽だ」「自覚症状に乏しく生活に支障はない」の4項目は因子分析の対象から外して分析を行っている〔図表2-1〕【資料1】。

なお、因子分析は、因子分析の手法としてオーソドックスな「主因子法」を用いて「バリマックス回転」を行い、「因子負荷量」が経験上の目安として0.4以上のものをその因子と関連性の高い項目として、網掛けを施している。

1軸は、「体調を保つのが大変だと思う」「仕事や家事を支障なくこなすのが大変だと思う」「一緒に暮らす家族の負担が大きいと思う」「生命保険に入るのが大変だろうと思う」「病院に通うのが大変だと思う」「治療に費用がかかって大変だと思う」「経済的に苦しいのではないかと思う」の項目で高い因子負荷量を示しており、病気で苦労していることに関する因子と解釈できる。

2軸は、「そばにいと病気がうつるように感じる」「患者と一緒に食事をするのはこわい」「患者となるべく付き合いたくない」の項目で高い因子負荷量を示しており、病気をうつされそうなことに対する恐れや、患者とは関わりたくない気持ちに関する因子と解釈でき、偏見や差別が生じる構造の②の感情的な要因ととらえることができる。

3軸は、「差別を受けており、気の毒だ」「偏見を持たれ、気の毒だ」の項目で高い因子負荷量を示しており、差別や偏見を持たれて気の毒に思う因子と解釈できる。患者が差別や偏見を持たれているという認識を持っているということで、この因子が強いからといって、その人に差別・偏見的なイメージがあるとはかぎらない。

4軸は、「恐ろしい病気にかかっている」「治らない病気にかかっている」「患者の恋人や配偶者

になるのはこわい」の項目で高い因子負荷量を示しており、特に、「恐ろしい病気にかかっている」「治らない病気にかかっている」で因子負荷量が高くなっていることから、恐ろしい病気・治らない病気になっている因子と解釈でき、偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントを持っている要因ととらえることができる。

5軸は、「他の人に知らせて感染が広がらないようにすべきだ」「他の人にそっと知らせた方がよい」の項目で高い因子負荷量を示しており、他の人に知らせて患者の存在を知らせたり、患者を排除したりする因子と解釈することができる。この因子は、偏見や差別が生じる構造の③関係性の排除の要因ととらえられる。ただし医師の場合、患者がいることを知らせて注意を促す場合にも高く表れることも想定される。

6軸は、「性交渉を通じて感染したのだろう」「家族から感染したのだろう」で高い因子負荷量を示しており、B型肝炎は家族から感染・性交渉で感染したという因子と解釈できる。

〔図表2-1-1〕【資料2】。

(2) C型肝炎患者イメージの因子分析

問Ⅱ-1【資料B-2】のC型肝炎患者に対するイメージ項目の結果を用いて、B型肝炎と同様の手順で因子分析を行った。一般生活者調査とそろえるために、B型肝炎患者イメージの分析と同様に「患者はアルコールを飲んではいけない」「患者は運動をしてはいけない」「助成金も豊富で比較的経済的には楽だ」「自覚症状に乏しく生活に支障はない」の4項目は因子分析の対象から外している〔図表2-2〕【資料3】。

因子分析は、因子分析の手法としてオーソドックスな「主因子法」を用いて「バリマックス回転」を行い、「因子負荷量」が経験上の目安として0.4以上のものをその因子と関連性の高い項目として、網掛けを施している。

1軸は、「体調を保つのが大変だと思う」「仕事や家事を支障なくこなすのが大変だと思う」「一緒に暮らす家族の負担が大きいと思う」「生命保険に入るのが大変だろうと思う」「病院に通うのが大変だと思う」「治療に費用がかかって大変だと思う」「経済的に苦しいのではないかと思う」の項目で高い因子負荷量を示しており、病気で苦労していることに関する因子と解釈できる。

2軸は、「そばにいと病気がうつるように感じる」「患者と一緒に食事をするのはこわい」「患者となるべく付き合いたくない」の項目で高い因子負荷量を示しており、病気をうつされそうなことに対する恐れや、患者とは関わりたくない気持ちに関する因子と解釈でき、偏見や差別が生じる構造の②の感情的な要因ととらえることができる。

3軸は、「差別を受けており、気の毒だ」「偏見を持たれ、気の毒だ」の項目で高い因子負荷量を示しており、差別や偏見を持たれて気の毒に思う因子と解釈できる。患者が差別や偏見を持たれているという認識を持っているということで、この

因子が強いからといって、その人に差別・偏見的なイメージがあるとはかぎらない。

4軸は、「他の人に知らせて感染が広がらないようにすべきだ」「他の人にそっと知らせた方がよい」の項目で高い因子負荷量を示しており、他の人に知らせて患者の存在を知らせたり、患者を排除したりする因子と解釈することができる。この因子は、偏見や差別が生じる構造の③関係性の排除の要因ととらえられる。ただし医師の場合、患者がいることを知らせて注意を促す場合にも高く表れることも想定される。

5軸は、「恐ろしい病気にかかっている」「治らない病気にかかっている」の項目で因子負荷量が高くなっていることから、恐ろしい病気・治らない病気になっている因子と解釈でき、偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントを持っている要因ととらえることができる。

6軸は、「性交渉を通じて感染したのだろう」「家族から感染したのだろう」で高い因子負荷量を示しており、C型肝炎は家族から感染・性交渉で感染したという因子と解釈できる〔図表 2-2-1〕【資料 4】。

(3) B型肝炎患者イメージクラスター

B型肝炎患者イメージの6軸について因子分析で求められた因子得点をもとに、「k-means法」によるクラスター分析を行い、医療従事者を5つのグループに分類した。なお、差別・偏見の可能性が高いと考えられるクラスター群から順に、1群～5群にわりあてている〔図表 2-1-2〕【資料 5】。

B型肝炎患者イメージ1群：医療従事者の8.1%に該当する。すべての軸に対して関連が高く、偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントの要因②感情的要因③関係性排除の要因のすべてを持っている。職業構成比では歯科衛生士・助手・技工士で割合がやや高い。

B型肝炎患者イメージ2群：医療従事者の18.6%に該当する。1軸「・病気で苦労」3軸「・差別偏見がある」4軸「・恐ろしい病気・怖い病気」5軸「・他の人にも知らせて患者を排除」6軸「・家族から感染・性交渉で感染」との関連が高い。偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントの要因と③関係性排除の要因がある。この群は「偏見や差別が生じる構造の②感情的な要因は低いにもかかわらず③関係性排除の要因が出ており、一般生活者にはみられない群である。また、後述するC型肝炎患者のイメージクラスターではみられない群である。その理由としては、B型肝炎の感染力がC型肝炎に比べて強いことを知っているため、医療従事者として感染を防ぐ立場から、他の人に知らせて警戒を促すためと推察される。職業構成比では歯科医師、歯科衛生士・助手・技工士、その他患者接触職種で割合がやや高い。

B型肝炎患者イメージ3群：医療従事者の28.4%に該当する。1軸「・病気で苦労」3軸「・差別偏見がある」4軸「・恐ろしい病気・怖い病気」6軸「・家族から感染・性交渉で感染」との関連が高

い。偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントの要因のみがある。職業構成比では看護師（内科）、その他老人施設で割合がやや高い。

B型肝炎患者イメージ4群：医療従事者の20.7%に該当する。1軸「・病気で苦労」、4軸「・恐ろしい病気・怖い病気」6軸「・家族から感染・性交渉で感染」の関連が高い。偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントの要因のみがある。職業構成比では勤務医（外科）、開業医で割合がやや高い。

B型肝炎患者イメージ5群：医療従事者の24.3%に該当する。すべての軸で関連が低く、肝炎患者に対する関心は低い。そのため、患者に対して差別や偏見的なイメージを持つ可能性は低いと考えられる。職業構成比では勤務医（その他）、特養・養護老人ホームで割合がやや高い〔図表 2-1-2、図表 2-1-3、図表 2-1-4〕【資料 5、6、7】。

(4) C型肝炎患者イメージクラスター

C型肝炎患者イメージの6軸について因子分析で求められた因子得点をもとに、「k-means法」によるクラスター分析を行い、医療従事者を5つのグループに分類した。なお、差別・偏見の可能性が高いと考えられるクラスター群から順に、1群～5群にわりあてている。〔図表 2-2-2〕【資料 5】。

C型肝炎患者イメージ1群：医療従事者の9.8%に該当する。すべての軸に対して関連が高く、偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントの要因②感情的要因③関係性排除の要因のすべてを持っている。職業構成比では歯科衛生士・助手・技工士、特養・養護老人ホームで割合がやや高い。

C型肝炎患者イメージ2群：医療従事者の27.8%に該当する。1軸「・病気で苦労」3軸「・差別偏見がある」5軸「・恐ろしい病気・怖い病気」との関連が高い。偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントの要因のみがある。職業構成比では看護師（外科）、看護師（その他）でやや高い。

C型肝炎患者イメージ3群：医療従事者の20.8%に該当する。1軸「・病気で苦労」5軸「・恐ろしい病気・怖い病気」との関連が高い。偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントの要因のみがある。職業構成比では勤務医（外科）、勤務医（その他）、その他患者接触職種で割合がやや高い。

C型肝炎患者イメージ4群：医療従事者の18.2%に該当する。5軸「・恐ろしい病気・怖い病気」の関連が高い。偏見や差別が生じる構造の①差別化となるネガポイントの要因のみがある。職業構成比では勤務医（外科）、歯科衛生士・助手・技工士で割合がやや高い。

C型肝炎患者イメージ5群：医療従事者の23.5%に該当する。すべての軸で関連が低く、肝炎患者に対する関心は低い。そのため、患者に対して差別や偏見的なイメージを持つ可能性は低いと考えられる。職業構成比では歯科医、看護師（その他）、

特養・養護老人ホーム、その他老人ホームで割合がやや高い〔図表 2-2-2、図表 2-2-3、図表 2-2-4〕【資料 8、9、10】。

(5) 感染経路認知のクラスター別特徴

B 型肝炎の感染経路については、いずれのグループでも「血液などの体液を介して、病原体が体内に入ること」の割合が最も高いが、B 型肝炎患者イメージ 1 群の割合はそこでは最も低い。また、「性交渉により病原体が体内に入ること」の割合も、1 群の割合が最も低く、その一方で「病原体が皮膚や粘膜から入る」の割合がやや高い〔図表 1-1-1〕【資料 11】。

C 型肝炎の感染経路については、いずれのグループも「血液などの体液を介して、病原体が体内に入ること」の割合が最も高いが、C 型肝炎患者イメージ 1 群の割合はそこでは最も低い〔図表 1-1-2〕【資料 12】。

(6) 感染経路認知のクラスター別特徴

B 型肝炎患者イメージ 1 群はほとんどの項目で、感染可能性がある割合が相対的に高く、B 型肝炎が簡単にうつるイメージを持たれている。

B 型肝炎患者イメージ 2 群は、「(咳をしている感染者と) 会話をする」「(感染者と) キスをする」「(感染者の血液がついた) 便座に座る」「(感染者から吸血した) 蚊に刺される」などの割合がやや高い〔図表 2-4〕【資料 13】。

C 型肝炎患者イメージ 1 群は、ほとんどの項目で感染可能性がある割合が相対的に高く、C 型肝炎が簡単にうつるイメージを持たれている。

C 型肝炎患者イメージ 2 群は「カミソリを共用する」「歯ブラシを共用する」などの項目で割合が相対的に高い〔図表 2-5〕【資料 14】。

(7) 意識行動項目のクラスター別特徴

B 型肝炎患者イメージ 1 群は、「短気」「対人依存・特定の付き合いに限られる」「マスメディアの情報に流されやすい」「悲観的・不安を感じやすい」「細かなことが気になる」「きれい好き」に関する項目の割合が相対的に高い。

B 型肝炎患者イメージ 2 群は、「対人依存・特定の付き合いに限られる」「マスメディアの情報に流されやすい」「細かなことが気になる」に関する項目の割合が相対的に高い〔図表 3-7-1〕【資料 15】。

C 型肝炎患者イメージ 1 群は「マスメディアの情報に流されやすい」「悲観的・不安を感じやすい」「細かなことが気になる」「きれい好き」「自分勝手」「意地悪」に関する項目の割合が相対的に高い〔図表 3-7-2〕【資料 16】。

(8) 感染予防のクラスター別特徴

I 肝炎に関するマニュアルの有無

B 型肝炎の場合、いずれの群も「肝炎について

記載されたマニュアルがある」割合が最も高い。その中で、B 型肝炎患者イメージ 1 群は、「肝炎について記載されたマニュアルがある」割合が半数を下回り相対的に低い〔図表 3-4-1-1〕【資料 17】。

C 型肝炎の場合、いずれの群も「肝炎について記載されたマニュアルがある」割合が最も高い。その中で、C 型肝炎患者イメージ 1 群は、「肝炎について記載されたマニュアルがある」割合が半数を下回り相対的に低い〔図表 3-4-1-2〕【資料 18】。

(9) 標準予防策の認知状況*

B 型肝炎に関する検討では、B 型肝炎患者イメージ 1 群は「内容について知っている」割合が最も低く、「どのようなものかだいたいわかる」を含めた割合が半数程度と、標準予防策に関する理解が他のグループと比べて相対的に低いことがうかがわれる〔図表 3-4-3-1〕【資料 19】。

C 型肝炎に関する検討では、C 型肝炎患者イメージ 1 群は「内容について知っている」割合が 2 割を下回り、「どのようなものかだいたいわかる」を含めた割合が半数を下回るなど、標準予防策に関する理解が相対的に低いことがうかがわれる〔図表 3-4-3-2〕【資料 20】。

※標準予防策 (Standard PreCautions) :

感染の有無に関わらず、病院でケアを受けているすべての患者に適用される。血液、目に見える血液を含む含まないに関わらず、全ての体液、汗を除く分泌物、傷のある皮膚粘膜を感染の可能性のある対象として対応することで、患者や医療従事者を感染の危険から守るための対策

(10) 感染予防行動

B 型肝炎に関する検討では、「日ごろから感染予防を意識して行動している」割合が半数を下回り、「感染患者に接するときには意識して行動する」の割合が最も高い〔図表 3-4-4-1〕【資料 21】。

C 型肝炎に関する検討では、C 型肝炎患者イメージ 1 群は「日ごろから感染予防を意識して行動している」割合が 4 割を下回り、「感染患者に接するときには意識して行動する」の割合が約半数を占めている〔図表 3-4-4-2〕【資料 22】。

D. 考察

(1) 肝炎、感染経路の認知に関して

本検討は (1) 肝炎患者の周囲にいる医療従事者が肝炎ウイルスを含めた病原微生物に関してどの程度の知識を持っているか、(2) 医療従事者が肝炎ウイルスの感染経路に関してどの程度の知識を持っているか、(3) 医療従事者がウイルス肝炎やウイルス肝炎に罹患した患者に対してどのようなイメージを持っているか、(4) 医療従事者が患者に対して抱く偏見、差別感情と関係のある行動様式、性格特性があるかに関して検討することを目的としたものであり、一般生活者との対比が可

能なように設計した。

医療従事者のB型肝炎・C型肝炎の認知度は職種を問わずほぼ100%であり、血液で感染することも9割程度の人が認知している。また、性交渉により感染すると回答している人も4割程度存在し、一般生活者に比べると認知度は高い。

しかしながら感染経路に関する理解は不十分である。ウイルス肝炎の伝播は血液、体液が皮膚や粘膜にある傷から侵入することによる。従って①血液、体液に直接触れること、②触れた皮膚、粘膜に傷があること、の2つが感染に必要であり、このことを理解していれば感染の可能性については理解できるはずである。しかしながらこのことが十分理解できていない人が医療従事者に数多く見られる。

B型肝炎はワクチンで予防できる病気であり、医療従事者、ことに血液や体液に触れる危険性の高い職種ではHBワクチンの接種は必須である。しかしながらB型肝炎がワクチンで予防できることは医療従事者の約4割しか認識していない。HBワクチンの接種状況に関しても調査が必要であることを示唆する成績である。

(2) 医療従事者のB型肝炎患者・C型肝炎患者のイメージ分析に関して

差別・偏見が生じる構造としては、

- ① 差別化となるネガポイントの要因 (怖い病気・治らない病気)
- ② (知識不足に伴う) 感情的要因 (そばにいるとうつつ・一緒に食費をするのは怖い・なるべく付き合いたくないなど)
- ③ 関係性排除の要因 (他人に知らせたほうがよい)

の3段階を経ることが考えられる(資料23)。医療従事者のイメージに基づくグルーピングはこの仮説に基づいて行った。

B型肝炎患者イメージ1群(医療従事者の8.1%、一般生活者の16.4%)とC型肝炎患者イメージ1群(医療従事者の9.8%、一般生活者の13.4%)は、差別・偏見構造の①差別化となるネガポイントの要因と②感情的要因と③関係性排除の要因の3つの要因が揃っていることで、差別・偏見的なイメージにつながる可能性があることが考えられる。この群は直接差別行動に及ぶ可能性がある群であり、対応を考える必要のある群である。一般生活者に比べて頻度は低いものの、約10%の医療従事者がこの群に属することは注視すべきことである。

医療従事者は一般生活者とは異なり、医療現場で自分を含めて他の人への感染を防ぐ立場にある。また、医療従事者一人一人の言動は肝炎患者のみならず、肝炎に感染していない患者へも影響を及ぼす可能性がある。医療従事者は肝炎患者に対する差別・偏見の抑制だけではなく、感染予防の観点も併せたいうえで、自らの言動を律する必要があると考えられる。

B型肝炎患者イメージ2群は感染経路に関する知識は他の群よりも正確であり、感染力が高く、体液を介して伝播するB型肝炎の本質をよくとら

え、そのこと自体が偏見につながる可能性を指摘している群であることは注目に値する。また、この群の感染経路に関するイメージからは便座に座ること、蚊に刺されることでも感染の可能性が高いと考えており、血液に対する恐怖心が強い群とも考えることができる。血液を含めた体液の扱い(標準予防策)を医療従事者に対してもわかりやすく伝えていくことが大切だと思われる。

B型肝炎、C型肝炎患者に対するイメージクラスター1群、2群の性格・行動様式からは、これらの群に属する医療従事者は他者との交際の幅が広く、外向的な性格であり、思いやりがあると考えられていること、その反面神経質で短気、自分勝手なところもあることが伺われた。こうした性格は差別的な行動につながり得るものである。自らの性格を認識し、考え方や行動を修正するのは容易なことではないが、専門教育、職場での研修でそのことに気づき、注意していくことが偏見、差別の軽減につながる可能性もあり、検討すべき課題である。

(3) 医療従事者に標準予防策の認知を徹底してもらうことの重要性に関して、

歯科医師、歯科技工士・助手・衛生士にはB型肝炎患者イメージ1群、B型肝炎患者イメージ2群の割合が高い。これらの職種は患者の唾液に直接触れる職種であり、日常的に感染リスクにさらされている。それにもかかわらずこれらの職種の感染経路に関する理解度は低い。歯科領域の感染対策ガイドラインは既に日本補綴歯科学会などからガイドラインが出されているものの、十分徹底されていないことが伺える。また、HBワクチンの認知度も低い。

感染の防止のためには体液に触れる際に注意が必要である。感染防止のため、医療従事者は体液に触れる際に標準予防策を行っている。標準予防策はあらゆる人の体液には病原微生物が含まれることを前提として、体液に触れる前後の手洗い、触れる際の手袋着用を行うものである。医療従事者は他人への感染伝播を防止しなければいけないために標準予防策を守るわけである。しかしながら標準予防策は比較的新しい考え方であり、ICT(Infection Control Team)活動が行われている病院以外では徹底されていないことが考えられる。従って歯科領域の医療従事者に対しては、他の職種以上に正確な知識の伝達、標準予防策の徹底に力を入れる必要があることを本調査は示唆している。

(4) B型肝炎の特殊性

医療従事者の解析ではB型肝炎とC型肝炎に対する認識や知識には大きな差はなかったものの、患者に対するイメージをクラスター分類した時に異なる傾向が見られた。B型肝炎の2群、C型肝炎の4群は各疾病に特有のイメージである。“肝炎は恐ろしい病気”というイメージに“差別を受けているのではないか”という気持ちが結びついて

いる傾向は、B型肝炎でより強いことがうかがわれた。

B型肝炎の感染力はC型肝炎に比べて強く、体液を介した感染も容易に起こし得ることが知られている。従って標準予防策の徹底に加えてHBワクチンの接種が必須である。こうしたことによりB型肝炎患者に対する偏見、差別は軽減される可能性がある。

E. 結論

(1) 一般生活者同様、肝炎に対する知識が不十分なために肝炎患者に対して偏見を持ち、差別行動をとる可能性のある医療従事者がおり、こうした人に対する教育、研修が必要である。(2) 肝炎の感染力を認知しているため、周囲に情報を開示すべきだと確信している医療従事者がおり、こうした人に対しては標準予防策とHBワクチンの接種の徹底が必要である。(3) すべての医療機関、特に歯科がマニュアルを整備し、標準予防策を遵守するように指導を行う必要がある。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

1) 四柳宏. ウイルス性肝炎患者に対する偏見・差別を生むもの. 平成25年度都道府県肝疾患診療連携拠点病院肝疾患相談センター 相談員向け研修会 2014年3月 千葉.

(<http://www.kanen.ncgm.go.jp/study.html#a20140307>)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(※予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表B-1 事前調査の内容

【事前調査(スクリーニング調査)】

感染症に関するおたずね

I-1 以下の病気は、どれも“感染症”(他人にうつる可能性のある病気)です。以下の感染症それぞれについて、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。

	病気の名前を知っている	感染することを知っている	原因となる病原微生物(細菌・ウイルスなど)のことを知っている	どのような症状や合併症を有する病気なのかを知っている	治療方法や使われる医薬品のことを知っている	この病気については聞いたことがない
インフルエンザ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
麻疹(はしか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
O157(病原大腸菌)感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ノロウイルス感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
MRSA(メチシリン耐性ブドウ球菌)感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エイズ(HIV感染症)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

I-2 あなたご自身、あるいは、同居家族で、B型肝炎もしくはC型肝炎のいずれかに感染したことがある方はいますか。

※ここでいう感染には、B型・C型肝炎を原因とする急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝がん、ウイルスキャリア(ウイルスを持ってはいるが発症していない状態)が含まれます。

- 自分や同居家族で感染したことがある人がいる(現在感染している方を含みます)
- 自分を含めて感染したことがある人はいない
- わからない
- 答えたくない

I-3 あなたの職業をお知らせください。

- 医師(開業)
- 医師(病院等勤務)
- 歯科医師
- 歯科衛生士
- 歯科助手
- 歯科技工士
- 看護師
- 理学療法士
- 作業療法士
- 臨床検査技師
- 診療放射線技師
- 保健師
- 助産師
- 老人施設勤務
- 特別養護老人ホーム・養護老人ホーム勤務
- その他老人施設勤務
- その他

I-3 あなたの主勤務診療科をお知らせください。

- 一般内科
- 消化器科
- 循環器科
- 呼吸器科
- 代謝・内分泌・糖尿病科
- 神経内科
- 血液内科
- 腎臓内科
- 心療内科
- その他の内科
- 一般外科
- 消化器外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 胸部外科
- その他の外科
- 産婦人科

- 皮膚科
- 泌尿器科
- 耳鼻咽喉科
- 精神・神経科
- 眼科
- 小児科
- リハビリテーション科
- 麻酔科
- 放射線科
- その他の科

I-4 あなたの性別をお知らせください。

- 男性
- 女性

I-5 あなたの年齢をお知らせください。

表B-2 本調査の内容

【本調査】

肝炎をはじめとする感染症に関する意識調査

(株)インテージ アンケートモニターの皆様へ
—御協力のお願い—

この調査は、平成24年度厚生労働科学研究費補助金を受けて行う「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究」班と「集団生活の場における肝炎ウイルス感染予防ガイドラインの作成のための研究」班の研究の一環として行われるものです。

この研究は、肝炎をはじめとする感染症や患者に対する一般生活者の認識や意識を把握し、医学的及び法律的観点から分析・検討を行い、患者に対する偏見・差別被害の防止や感染予防のガイドラインを検討する上での基礎資料とすることを目的とします。

このアンケートにご協力いただくかどうかはみなさまの自由意思にゆだねられており、アンケートへの回答をもって同意の意思があると判断させていただきます。回答された後の同意撤回はできません。なお、調査結果はすべて統計処理され、研究班の報告書、学会発表、論文などの形で公表させていただく可能性がございます。みなさまお一人お一人を特定する情報は私たち研究者にはいっさい伝えられませんので、ご協力いただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ありません。

ご回答いただく際は、本やウェブサイトを参考にせず、あなた自身の考えでお答えください。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究」班
代表 学習院大学法科大学院客員研究員(弁護士) 龍岡 資晃
「集団生活の場における肝炎ウイルス感染予防ガイドラインの作成のための研究」班
代表 東京大学大学院生体防御感染症学(医師) 四柳 宏

- 同意する
- 同意しない

はじめに、感染症全般についてお伺いします。

I-1 感染症の広がり方に関して、あなたの考えをお伺いします。以下の感染症はそれぞれ、どのようにして感染すると思いますか。あてはまると思うものをすべてお答えください。本やウェブサイトを参考にせず、あなた自身の考えでお答えください。

	くしゃみや咳によって空気中に放出された病原体を吸い込むことにより感染する	病原体が食事と共に口から入ることにより感染する	病原体が皮膚や粘膜から入ることにより感染する	血液などの体液を介して、病原体が体内に入ることにより感染する	性交渉により病原体が体内に入ることにより感染する	その他の方法で感染する (具体的にお書きください)	わからない
インフルエンザ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
麻疹(はしか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
O157(病原大腸菌)感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
ノロウイルス感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
MRSA(メチシリン耐性ブドウ球菌)感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
エイズ(HIV感染症)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
A型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
B型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
C型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>

I-2 あなたが感染症について抱いているイメージについてお伺いします。

以下の感染症それぞれについて、あなたが抱いているイメージにあてはまるものをすべてお答えください。

本やウェブサイトを参考にせず、あなた自身の考えでお答えください。

	大人よりも子供に多い	子供よりも大人に多い	男性に多い	女性に多い	多くの人が感染する	感染する人は少ない	感染者数が年々増えている	感染者数が年々減っている	感染者数は増えても減ってもいない	恐ろしい	恐ろしくない	治りやすい	治りにくい	ワクチンで予防ができる	治療に費用がかかる	その他 (具体的にお書きください)	思い当たるイメージはない
インフルエンザ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
麻疹(はしか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
O157(病原大腸菌)感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
ノロウイルス感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
MRSA(メチシリン耐性ブドウ球菌)感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
エイズ(HIV感染症)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
A型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
B型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
C型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>

ここからは、B型肝炎・C型肝炎についてお伺いします。

Ⅱ-1 **B型肝炎の患者**に対してあなたが抱えているイメージや気持ちに、以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。

	強く そう思う	やや そう思う	あまりそう思 わない	全くそう 思わない	わからな い
恐ろしい病気にかかっている	○	○	○	○	○
治らない病気にかかっている	○	○	○	○	○
そばにいと病気がうつるよに感じる	○	○	○	○	○
患者と一緒に食事をするのはこわい	○	○	○	○	○
患者の恋人や配偶者になるのはこわい	○	○	○	○	○
患者となるべく付き合いたくない	○	○	○	○	○
他の人に知らせて感染が広がらないようにしな ければいけないと思う	○	○	○	○	○
他の人にそつと知らせた方がよいと思う	○	○	○	○	○
差別を受けており、気の毒だと思う	○	○	○	○	○
偏見を持たれ、気の毒だと思う	○	○	○	○	○
性交渉を通じて感染したのだろうかと思う	○	○	○	○	○
家族から感染したのだろうかと思う	○	○	○	○	○
患者はアルコールを飲んではいけないと思う	○	○	○	○	○
患者は運動をしてはいけないと思う	○	○	○	○	○
助成金も豊富で比較的経済的には楽だと思う	○	○	○	○	○
自覚症状に乏しく生活に支障はないと思う	○	○	○	○	○
体調を保つのが大変だと思う	○	○	○	○	○
仕事や家事を支障なくこなすのが大変だと思う	○	○	○	○	○
一緒に暮らす家族の負担が大きいと思う	○	○	○	○	○
生命保険に入るのが大変だろうと思う	○	○	○	○	○
病院に通うのが大変だと思う	○	○	○	○	○
治療に費用がかかって大変だと思う	○	○	○	○	○
経済的に苦しいのではないかと 思う	○	○	○	○	○

Ⅱ-2 **C型肝炎の患者**に対してあなたが抱えているイメージや気持ちに、以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。

	強く そう思う	やや そう思う	あまりそう思 わない	全くそう 思わない	わからな い
恐ろしい病気にかかっている	○	○	○	○	○
治らない病気にかかっている	○	○	○	○	○
そばにいると病気がうつるように感じる	○	○	○	○	○
患者と一緒に食事をするのはこわい	○	○	○	○	○
患者の恋人や配偶者になるのはこわい	○	○	○	○	○
患者となるべく付き合いたくない	○	○	○	○	○
他の人に知らせて感染が広がらないようにしなければいけないと思う	○	○	○	○	○
他の人にそっと知らせた方がよいと思う	○	○	○	○	○
差別を受けており、気の毒だと思う	○	○	○	○	○
偏見を持たれ、気の毒だと思う	○	○	○	○	○
性交渉を通じて感染したのだろうかと思う	○	○	○	○	○
家族から感染したのだろうかと思う	○	○	○	○	○
患者はアルコールを飲んではいけないと思う	○	○	○	○	○
患者は運動をしてはいけないと思う	○	○	○	○	○
助成金も豊富で比較的経済的には楽だと思う	○	○	○	○	○
自覚症状に乏しく生活に支障はないと思う	○	○	○	○	○
体調を保つのが大変だと思う	○	○	○	○	○
仕事や家事を支障なくこなすのが大変だと思う	○	○	○	○	○
一緒に暮らす家族の負担が大きいと思う	○	○	○	○	○
生命保険に入るのが大変だろうと思う	○	○	○	○	○
病院に通うのが大変だと思う	○	○	○	○	○
治療に費用がかかって大変だと思う	○	○	○	○	○
経済的に苦しいのではないかとと思う	○	○	○	○	○

Ⅱ-3 以下の肝炎について、あなたが抱えているイメージにあてはまるものを、それぞれすべてお選びください。

本やウェブサイトを参考にせず、あなた自身の考えでお答えください。

	次第に進行していく病気	病気の進行しただいでは、肝硬変や“肝がん”を合併する病気	適切に治療することにより、病気の進行を止めることができる病気	輸血によりかかる病気	アルコールの飲み過ぎによりかかる病気	遺伝する病気	性交渉によりかかる病気	ワクチンによって予防できる病気	その他のイメージ (具体的に書きください)	特にイメージはない
B型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>
C型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/>

Ⅱ-4 以下の場合、B型肝炎に感染する可能性は、どの程度あると思いますか。それぞれについてお答えください。

本やウェブサイトを参考にせず、あなた自身の考えでお答えください。

	可能性は非常にある	可能性はややある	可能性はほとんどない	可能性は全くない	わからない
(感染者と)会話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(咳をしている感染者と)会話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)握手をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)同じ皿からものをとって食べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)同じ食器を使って食べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)一緒に入浴する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)タオルを共用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)歯ブラシを共用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)かみそりを共用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)キスをする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)性交渉を持つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者の血液がついた)便座に座る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者から吸血した)蚊に刺される	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Ⅱ-5 以下の場合、C型肝炎に感染する可能性は、どの程度あると思いますか。それぞれについてお答えください。

本やウェブサイトを参考にせず、あなた自身の考えでお答えください。

	可能性は 非常にある	可能性は ややある	可能性はほ とんどない	可能性は 全くない	わからない
(感染者と)会話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(咳をしている感染者と)会話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)握手をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)同じ皿からものにとって食べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)同じ食器を使って食べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)一緒に入浴する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)タオルを共用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)歯ブラシを共用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)かみそりを共用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)キスをする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者と)性交渉を持つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者の血液がついた)便座に座る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(感染者から吸血した)蚊に刺される	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

設問Ⅲ この部分では、あなた自身についてお伺いします。

Ⅲ-1 あなたの年齢、性別をお教えてください。

年齢 _____ 歳

性別 男性 女性

Ⅲ-2 あなたの住んでいる都道府県、市町村をお教えてください。

_____ 都道府県 _____ 市区町村

Ⅲ-3-1(医療施設勤務者のみ) あなたの勤務先でB型・C型肝炎患者に直接接する機会はありますか。また、あなたの勤務先で実際にB型・C型肝炎患者に直接接した経験はありますか。勤務先が複数ある場合は、一番勤務時間が長い勤務先について教えてください。

B型・C型肝炎患者に直接接する機会

1 ある 2 ない 3 わからない

実際にB型・C型肝炎患者に直接接した経験

1 ある 2 ない 3 わからない

Ⅲ-3-2(福祉施設勤務者のみ) あなたの勤務先でB型・C型肝炎に感染した方の介護にあたる機会はありますか。また、あなたの勤務先で実際にB型・C型肝炎に感染した方の介護にあたった経験はありますか。勤務先が複数ある場合は、一番勤務時間が長い勤務先について教えてください。

B型・C型肝炎に感染した方の介護にあたる機会

1 ある 2 ない 3 わからない

実際にB型・C型肝炎に感染した方の介護をおこなった経験

1 ある 2 ない 3 わからない

1 はい 2 いいえ

Ⅲ-4-1 あなたの勤務先にウイルス性肝炎の予防や患者への対処について記載されているマニュアルはありますか。勤務先が複数ある場合は、一番勤務時間が長い勤務先について教えてください。

1. ウイルス性肝炎について記載されたマニュアルがある
2. 感染症の予防や対処に関するマニュアルはあるが、ウイルス性肝炎については記載されていない
3. 感染症の予防や対処に関するマニュアルはあるが、ウイルス性肝炎について記載されているかどうかわからない

4. ウイルス性肝炎や感染症の予防や対処に関するマニュアルはない
5. ウイルス性肝炎や感染症の予防や対処に関するマニュアルがあるかどうかわからない

Ⅲ-4-2 (マニュアルのある場合に)そのマニュアルはご自身の施設で作成したものでですか

1. 自施設で作成したもの
2. 他の施設で作成されたもの(地方自治体や厚生労働省などで出されているものなど)

Ⅲ-4-3 あなたは「標準予防策」についてどの程度ご存知ですか。

1. 内容について知っている
2. どのようなものなのかだいたいわかる
3. 名前は知っているが細かいことはわからない
4. 名前も聞いたことがない

Ⅲ-4-4 あなたは感染症の予防についてどの程度意識して行動していますか。

1. 日頃から感染症予防を意識して行動している
2. 感染症患者に接するときは感染症予防を意識して行動している
3. 感染症の予防についてはあまり意識して行動していない

Ⅲ-4-5 あなたはB型肝炎のワクチン接種をしたことがありますか。

1. ある
2. ない

Ⅲ-4-5 B型肝炎のワクチンを接種したあと、ご自身のHBs抗体は陽性になりましたか。

1. なった
2. ならない
3. わからない／覚えていない

Ⅲ-4-6 B型肝炎のワクチンを接種して1年以上経過してから、ご自身のHBs抗体を測定したことはありますか。

1. ある
2. ない
3. わからない／覚えていない

Ⅲ-4-7 あなたの勤務先の病床数(ベッド数)を教えてください。勤務先が複数ある場合は、一番勤務時間が長い勤務先について教えてください。

1. 無床(0床)
2. 1~19床
3. 20~99床

4. 100～199 床
5. 200～299 床
6. 300～399 床
7. 400～499 床
8. 500～599 床
9. 600～699 床
10. 700 床以上

Ⅲ-5 結婚状況

- 1 未婚 2 既婚 3 離死別

Ⅲ-6 最終学歴

- 1 大学院 2 大学 3 短期大学 4 専門学校 5 高等学校 6 中学校 7 その他

Ⅲ-7 以下の項目は、あなたの日常的な行動に照らして、どの程度あてはまるとお考えですか。それぞれについてお答えください。

	大いに あてはまる	やや あてはまる	あまりあて はまらない	全くあて はまらない	答えたく ない
1. 世話好きで、人の面倒を見ることが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 他人の争いごとがあると仲裁に入る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 皆で決めたルールは絶対に守る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 悪いことや間違っことは許せない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 他人の些細な発言や行動でイライラすることが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 物事が決まるとおりに進まないと感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 思い立ったら、すぐに実行しないと気が済まない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 感情をコントロールして行動するようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 特に用事がないと友人にメールや電話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 友人・同僚からの誘いはできるだけ断らないようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 自分のいないところで友人や仲間が集まっていると、何をしているのか気になる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. 気心の知れた仲間以外とはあまり一緒にいたくない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. いつも決まった友人・同僚と過ごしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14. 交流の幅が広い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15. 新聞を書いてあることは正しいと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16. テレビやラジオの報道に影響を受けやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17. テレビや雑誌などで知った面白い情報は他の人にも伝えたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18. インターネットの情報(掲示板やブログ、Twitter など)を参考に て買物を決めることが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19. 物事の悪い面を想像して不安になることが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20. ちょっと嫌なことがあると悪い方向へ考えてしまいがちだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

21. 他人と同じでない不安を感じる	○	○	○	○	○
22. 何かと心配なことが多い	○	○	○	○	○
23. 細かいことを気にすぎる方だ	○	○	○	○	○
24. 些細なことでもこだわることが多い	○	○	○	○	○
25. ちょっと言われたことでも、その意図が気になる	○	○	○	○	○
26. 家の中や仕事を常に整理整頓している	○	○	○	○	○
27. 本棚の本は全部きれいに並んでいないと気が済まない	○	○	○	○	○
28. 知らない人が触れたものに直接触るのは抵抗がある	○	○	○	○	○
29. 何でも自分の思い通りにならないと気がすまない	○	○	○	○	○
30. 人がどう思うかよりも、自分がやりたいことを優先する	○	○	○	○	○
31. 自分のペースを崩したくない	○	○	○	○	○
32. 他人の弱点を指摘するのが得意だ	○	○	○	○	○
33. 悪口や陰口を言うことはめったにない	○	○	○	○	○
34. ついつい人が困るようなことをしてしまう	○	○	○	○	○
35. 苛んでいる人がいても、同じ気持ちにはなれない	○	○	○	○	○
36. 人の話を聞いていると、辛い話でもついつい感情移入してしまう	○	○	○	○	○
37. 思いやりがあるとと言われる	○	○	○	○	○
38. 差別を受けた経験がある	○	○	○	○	○
39. いじめを受けた経験がある	○	○	○	○	○
40. 他人をいじめた経験がある	○	○	○	○	○

最後に下記をお読みください。

【B型肝炎・C型肝炎の正しい知識について】

東京大学大学院生体防御感染症学(医師) 四柳 宏

ご協力ありがとうございました。

B型肝炎、C型肝炎は、どちらも血液を介して感染します。つまり、「感染している人の血液」が「別の人の血液の中に入る」ことにより感染が成立します。「別の人の血液の中に入る」のは、皮膚や粘膜(口の中、性器の表面、胃腸の中などねばねばした液体に覆われている部分)に傷がある場合に起こります。C型肝炎の感染経路としては、輸血による感染が以前は多かったのですが、今はほとんど見られません。現在の感染経路としてはウイルスで汚染した鍼(はり)による治療、入れ墨を入れること、ピアスの穴開けなどがあります。B型肝炎ウイルスの感染経路は出産時に母親から感染する場合は最も多く見られます。この他、大人の場合、ウイルスに感染している人との性交渉で感染することもあります。また、B型肝炎については集団予防接種の際の注射器の連続使用(国は予防接種実施規則により、昭和33年に注射針について、昭和63年に注射筒について、被接種者ごとに取り替えることを定めています)も感染源として挙げられています。これら以外の日常生活(食事を共にする、一緒に入浴する、手を握る)ことで感染することはありません。

B型肝炎はワクチンを接種することで予防が可能です。パートナーやご家族がB型肝炎にかかっておられる方はご自身もB型肝炎にかかれる可能性がありますので、ワクチンを接種することをお勧めします。B型肝炎のワクチンの副作用はほとんどなく、170カ国以上の国で定期接種(小児が決められた時期に接種を受けること)が行われています。

B型肝炎、C型肝炎の治療は大きく進歩しています。C型肝炎の患者さんの70%以上は治療によりウイルスを排除することができますようになりました。B型肝炎の患者さんも適切な治療を受けることで、他の人への感染の危険性を大きく減らすことができますし、ウイルスを排除することもできるようになってきました。

このアンケートにお答え頂いたあなたがB型肝炎やC型肝炎にかかっている可能性はあるでしょうか。B型肝炎、C型肝炎は慢性肝炎の時期を経て肝硬変や肝臓がんに進展する危険性がある病気ですが、病気が進行しても症状はほとんどありませんから、検査を受けなければ感染していることはわかりません。つまりあなた自身がB型肝炎やC型肝炎にかかっているかどうかは検査をしなければわかりません。

現在はほとんどの自治体で無料検査ができるようになっていました。今まであなたが肝炎の検査を受けたことがなければ、一度ぜひ検査を受けて下さい。仮に肝炎ウイルスに感染していても、早いうちに適切な診療を受ければ肝硬変や肝臓がんになることはまずありません。

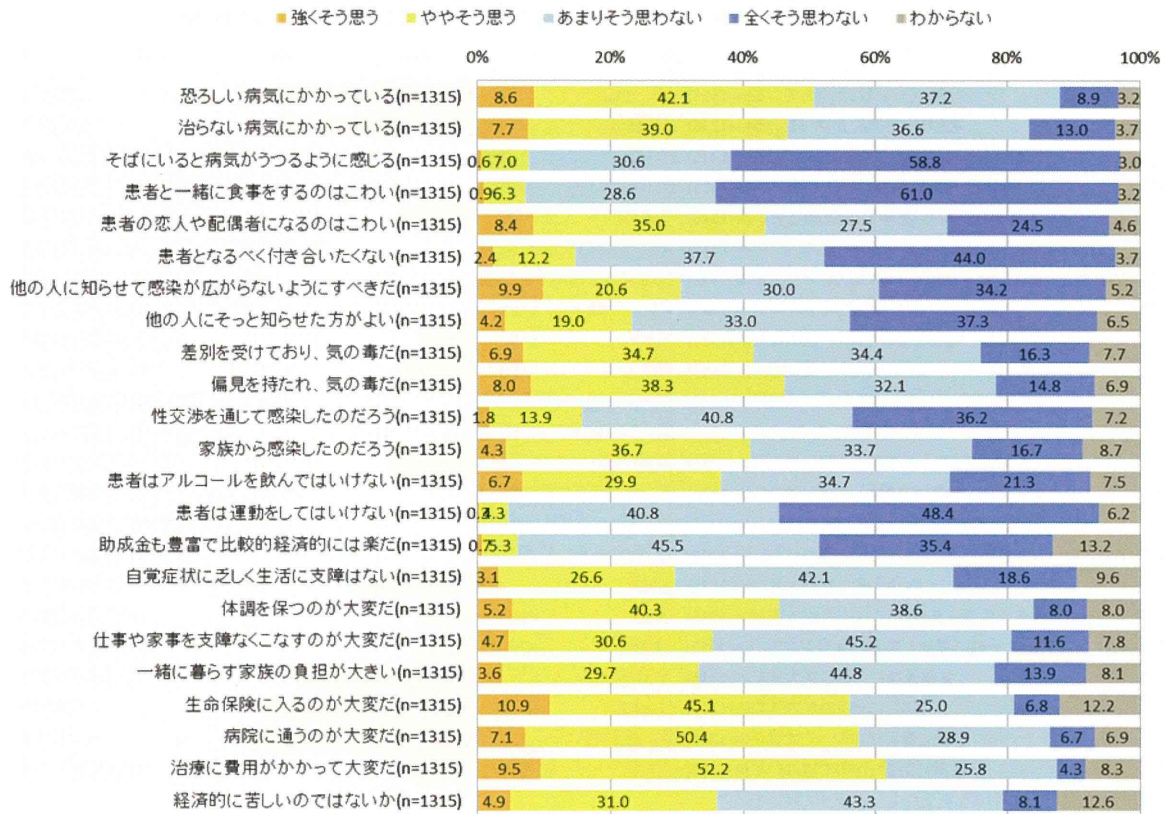
Ⅲ-8 あなたは、これを読んで、肝炎のウイルス検査をしてみたいと思いましたか。

1 はい 2 いいえ

最後までご回答頂き、ありがとうございました。

資料1

図表2-1 B型肝炎患者に対するイメージ



資料2

図表 2-1-1 B型肝炎患者イメージに関する因子分析結果

因子負荷量行列(回転後)

変数	1軸 病気で苦 労	2軸 ・うつされ そう ・関係性を 持ちたくな い	3軸 ・差別偏 見がある	4軸 ・恐ろしい 病気 ・怖い病気	5軸 ・他の人に も知らせ て患者を 排除	6軸 ・家族から 感染 ・性交渉で 感染
恐ろしい病気にかかっている	0.2240	0.1623	0.0897	0.6335	0.1319	0.0655
治らない病気にかかっている	0.1778	0.1401	0.0443	0.5433	0.1317	0.0722
そばにいと病気がうつるように感じる	0.0252	0.7726	0.0758	0.1443	0.1310	0.0636
患者と一緒に食事をするのはこわい	0.0596	0.8287	0.0778	0.0951	0.1540	0.0658
患者の恋人や配偶者になるのはこわい	0.1823	0.3403	0.0199	0.4538	0.1944	0.2614
患者となるべく付き合いたくない	0.0957	0.5426	0.0309	0.3221	0.2343	0.2103
他の人に知らせて感染が広がらないようにすべきだ	0.0755	0.1821	0.0351	0.1784	0.7267	0.1225
他の人にそっと知らせた方がよい	0.1285	0.2309	0.0990	0.1595	0.6940	0.0958
差別を受けており、気の毒だ	0.2440	0.1141	0.8423	0.0797	0.0649	0.0870
偏見を持たれ、気の毒だ	0.2703	0.0644	0.9108	0.0740	0.0784	0.0736
性交渉を通じて感染したのだろう	0.0154	0.1843	0.0702	0.1350	0.0938	0.5471
家族から感染したのだろう	0.1178	0.0188	0.0476	0.0465	0.0737	0.7002
体調を保つのが大変だ	0.6905	0.0800	0.1107	-0.0306	0.1923	-0.0061
仕事や家事を支障なくこなすのが大変だ	0.7608	0.1570	0.1030	-0.0605	0.1515	-0.0204
一緒に暮らす家族の負担が大きい	0.6861	0.2167	0.1269	0.1338	0.1171	0.0550
生命保険に入るのが大変だ	0.5667	-0.0427	0.1303	0.2505	0.0030	0.1498
病院に通うのが大変だ	0.7103	-0.0357	0.0809	0.2169	-0.0115	0.0996
治療に費用がかかって大変だ	0.7268	-0.0355	0.1072	0.2100	-0.0127	0.0730
経済的に苦しいのではないかと	0.7056	0.0240	0.1050	0.1762	-0.0056	0.0342

※因子負荷量が0.4以上のセルに網掛け